

ジェネレーター交換術:当日パス 入院診療計画書

患者ID

主治医

病名

説明日

患者氏名

担当医

管理栄養士

症状 事前検査による異常所見

生年月日:

看護師

特別な栄養管理の必要性



患部の自覚症状

病棟(病室)

薬剤師

有 無

(呼吸困難・易疲労感・気分不快)

月日	入院日・治療前	
患者目標	不安なく治療を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無を確認します 足の甲の動脈が触れる部分に印をつけます 必要時、ペースメーカーを入れる部位の毛を剃ります 心電図モニターを退院時まで継続して装着します	 点滴用の針を腕に挿入し、準備をします(点滴はカテーテル室で開始し、翌朝医師の指示があるまで継続します) 安静中に使用する薬を預かります
検査		
食事	減塩食(糖尿病や腎臓病等がある場合はその他の治療食)です	
排泄	制限はありません	尿の管を入れます(状態により入れない場合もあります)
清潔	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします)	
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください	カテーテル室へはベッドで移動します
説明 (指導)	入院生活や治療について説明します 義歯・補聴器の有無を確認します ネームバンドを装着します	 カテーテル着に着替えます 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します
その他	治療に必要な物品は病院で準備します	治療開始時刻は、緊急カテーテルやその他の検査の進み具合によって、大幅に前後する場合があります

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに当たって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄


注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

(本人・家族) ()

循環器内科パス:

患者氏名

患者ID

月日	治療後	治療後1日目	退院日
	/	/	/
患者目標	治療後合併症を起こさない		日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる
治療処置注射(内服)	止血の為、穿刺部を圧迫固定します(脚が曲がらないよう固定具を付ける場合があります) 安静中に使用する薬は看護師が配ります	医師が止血確認後に圧迫固定を外します 医師の指示により尿の管を抜きます 医師の指示により点滴の針を抜きます 預かっていた薬を返却します ペースメーカーチェックを受けます	退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします(不在の場合には看護師からお渡しする場合があります) ネームバンドを外します
検査		レントゲン撮影と心電図検査があります	体温計を回収します
食事	帰室後から水分・食事を摂取することができます 食事は片手で食べやすい形態に変更します	減塩食(糖尿病や腎臓病等がある場合はその他の治療食)です	退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします
排泄	尿の管が入っています(尿の管を抜く場合があります) 排便はベッド上で便器を使用します	尿の管を抜いた後はトイレを使用します	会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります
清潔	翌朝までカテーテル着のまま観察していきます	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします)	(状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
活動(安静度)	翌朝まではベッド上で安静となります(背もたれや体の向きは自由に変えることができます) 尿の管を抜いた場合は病棟内でお過ごしください	医師の診察が済むまではベッド上でお過ごしください 診察後の制限はありません	
説明(指導)	治療後、医師から説明があります 治療後、胸部不快や気持ちが悪いや、苦痛がある場合は看護師にお知らせください		
その他			

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

循環器内科パス: